

お申し込み、受診は済みしましたか？

子宮頸がん・乳がん検診

がん検診の受診促進とともに、がんの早期発見と正しい健康意識を普及・啓発するため、「女性特有のがん検診推進事業」として、がん検診を実施しています。

がんは**早期発見・早期治療**が大切です。この機会に、必ず受診しましょう!!

問合せ・申込み 健康増進課 ☎(42)8421・FAX(42)2130



【対象者】つぎの年齢に該当する市民(平成21年4月1日現在)※対象年齢の人は**無料**で受診できます!!

子宮頸がん	20歳	昭和63(1988)年4月2日～平成元年(1989)年4月1日
	25歳	昭和58(1983)年4月2日～昭和59年(1984)年4月1日
	30歳	昭和53(1978)年4月2日～昭和54年(1979)年4月1日
	35歳	昭和48(1973)年4月2日～昭和49年(1974)年4月1日
	40歳	昭和43(1968)年4月2日～昭和44年(1969)年4月1日
乳がん	40歳	昭和43(1968)年4月2日～昭和44年(1969)年4月1日
	45歳	昭和38(1963)年4月2日～昭和39年(1964)年4月1日
	50歳	昭和33(1958)年4月2日～昭和34年(1959)年4月1日
	55歳	昭和28(1953)年4月2日～昭和29年(1954)年4月1日
	60歳	昭和23(1948)年4月2日～昭和24年(1949)年4月1日

※子宮頸がんは20～30歳代に急増中。乳がん発生のピークは40歳代後半。

※平成19年度幸手市受診率は、子宮頸がん11.1%(全国平均21.3%)、乳がん10.1%(全国平均20.3%)。

【実施日時】

3月15日(月)	受付 午後0時30分～1時30分 ※子宮頸がん検診のみ、午後1時～1時30分 場所 ウェルス幸手検診ホール
3月17日(水)	
3月18日(木)	

この機会に
ぜひ受診を!!



※このほか、医療機関でも受診できます。詳しくはお問い合わせください。

次世代育成支援行動計画

後期計画にご意見を

市では、現在策定中の次世代育成支援行動計画後期計画の素案について、みなさんからのご意見を募集しています。

次世代育成支援行動計画後期計画とは

この計画は、次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、かつ、成長できる環境の整備を図るため、児童福祉、母子保健・医療、教育関係などの基本的かつ総合的な計画であり、子育て支援に関する今後の取組の方向性を定めるものです。

計画期間は平成22年度から平成26年度までの5年です。

素案をご覧ください

素案は、1月12日(火)から市役所(総合案内)、ウェルス幸手(子育て支援課)、

市ホームページでご覧いただけます。

(<http://www.city.satte.lg.jp/>)

ご意見を寄せてください

FAXまたは電子メールなどで1月27日(水)までに子育て支援課へご意見をお寄せください。

なお、様式は自由ですが、必ず住所と氏名をご記入ください。

問合せ 子育て支援課 ☎(42)

8454・FAX(42)2130

電子メール

kosodat@city.satte.lg.jp



環境掲示板

(9)

幸手市環境基本計画の取組状況

市では、「幸手市環境基本計画」を策定し、50年後の将来を目安とした幸手の望ましい姿を「幸手の環境像」として掲げています。昨年に引き続き、「幸手の環境像」に近づくための「重点目標」を実現する「協働の取組指標」について、平成20年度末時点における取組状況を調査しました。ここでは、その状況の一部をお知らせします。

問合せ 環境課 ☎(48)0331・FAX(48)2226

◆環境基本計画に掲げる「重点目標」の取組状況◆（一部抜粋）

協働の取組指標	担当課	達成度	取組状況
・行政の車両に、低公害車を使います	財政課	○	公用車の買い替えについては、普通自動車を廃車して、軽自動車およびハイブリッドカーの購入を実施しています
・冬でも水路に水が流れるようにします	産業振興課	○	平成21年度の冬季通水に向けて作業を進めており、試験通水も実施されています
・家庭の不用品や粗大ごみなどのリユース市(いち)をつくります	環境課	×	実施していません
・行政のグリーン購入を拡充します	財政課	○	事務用消耗品については、グリーン購入法で認定している物品の購入に努めています
・公共工事における再生資材利用を拡充します	都市整備・駅周辺開発課	○	公園進入路などに再生切込砕石を使用しています
・歩道・公園・公共交通機関・公共公益施設などのバリアフリー化を行います	くらし安全課	○	東武鉄道と幸手駅のバリアフリー化について協議を行っています
・ピオトープ・体験農園など、子どもの体験学習の場・施設を充実させます	学校教育課	○	各学校が地域や学校環境の実態に応じて、ピオトープや学校農園などを整備しています。教科の学習や学校行事の中で、環境に関する体験的な活動を実施しています。
・環境についての意見交換・議論を進める市民会議を行います	環境課	○	市民環境ネット会議を毎月1回開催し、環境に関する話し合いをしました
・地産地消と交流・情報交換を育む市(いち)・流通をつくります	産業振興課	○	市が支援している幸手市地産地消研究会が、「ゆうあい幸手農産物直売所」を開設・運営しています
・全ての学校・保育所で、地元で作る安全な農作物が食べられるようにします	子育て支援課	△	米については地元産を使用。将来的には野菜なども実施の方向で考えていますが、具体的な計画は立っていません。地元産の農産物の入荷が少ない状況もあります
・「地球配慮の推進に関する方針」「幸手市行政改革大綱」を活用して、行政の業務における環境配慮の率先行動を充実させます	環境課	○	平成20年度中に「幸手市地球温暖化対策実行計画」を策定しました
・事業所の環境対策や化学物質・危険物などについて情報公開を充実させます	環境課	×	環境対策をはじめ、環境に関する事業者の情報公開については、特段、市では働きかけを行っていません

※達成度 ○…実施している、改善している、目標を達成した △…検討中、変化なし ×…実施していない、悪化している

市内を流れる倉松川。昔はともきれいな川で、泳いだり、魚釣りをした思い出のある人も多いでしょう。しかし、残念ながら現在の倉松川は、ヘドロの増幅による悪臭や不法投棄されたゴミの散乱など、改善しなければならぬ課題がたくさんあります。

▼EM菌で川の浄化を

EM菌とは、乳酸菌・酵母・光合成細菌など自然浄化や土壌改良に有用な善玉菌を集めて培養したものです。濃い米のとぎ汁を川に流すと、魚が住める水質に戻すためには風呂の浴槽約4杯分

ご存知ですか？

倉松探検隊



の水が必要と言われているが、米のとぎ汁にEM菌を入れると、逆に川や海をきれいにする浄化力のある水（EM発酵液）にできるそうです。倉松探検隊では、「米のとぎ汁EM発酵液」やEM菌を土に混ぜて作った「EM泥団子」を毎月1回倉松川に投入しています。

最近では、透視度や匂いなどの面で、倉松川の改善を実感できるようになってきました。倉松探検隊のみなさんの努力は、確実に実を結びつつあります。

▼そのほかの活動

- ・小中学生対象の「EM泥団子作り教室」開催
- ・幸手小学校のプール清掃にEM発酵液を活用
- ・市民まつりなどでの活動PR

問合せ 環境課 ☎(48)0331・FAX(48)2226



▲EM泥団子作り教室